

1 テーマ

ICT を活用した個別最適な学び・協働的な学びの充実（1 学年 国語科）

2 テーマ設定の理由または、課題

伊目小は全学年単級、全校児童 98 人の学校である。各学年の人数構成は 9 人～23 人と、ばらつきがある。1 年生には 13 人が在籍している。

1 年生はまだ語彙力がなく、自分の意見を表したり友達と交流したりすることが難しい。それに加え、児童の出身幼稚園はばらばらであり、中には幼稚園に通園していなかったり、海外にルーツがある児童もいたりする。そのため、児童によって話す力や書く力に差がある。

以上のような事態を踏まえて、今年度のテーマを「ICT を活用した個別最適な学び・協働的な学びの充実」とした。1 年生でも互いに自分の意見を表し、協働的に学ぶことができるようにしたい。

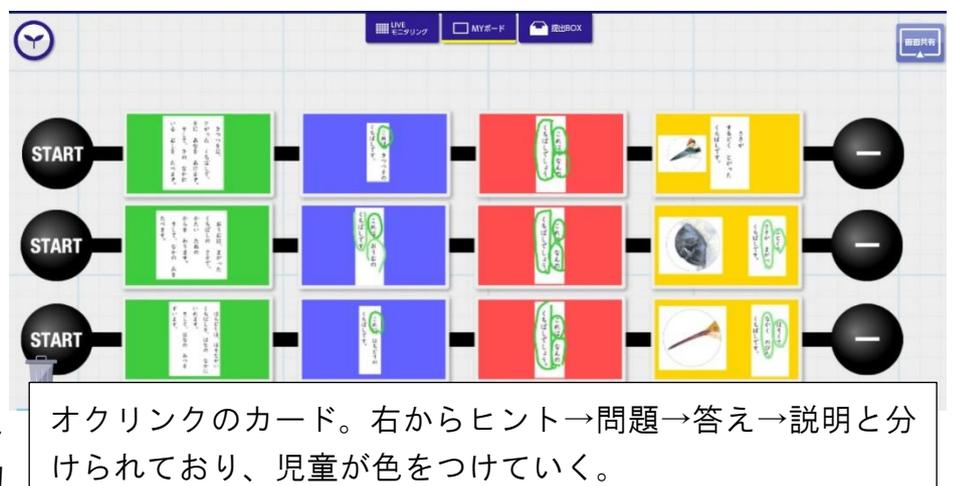
3 実践内容

①週一回行われる「タイピングタイム」

毎週水曜日の朝の時間に、「タイピングタイム」を行っている。児童にクロームブックに親んでもらうため、4 月当初は Google 描画を使ってお絵かきを楽しむことから活動をスタートさせた。ログインやクリックなど、クロームブックの操作全般に慣れてきたら、「キーボー島」を利用してローマ字を使ったタイピングの練習を行った。

②国語「くちばし」

本単元の目標の一つに、【時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えることができる。〔思考力、判断力、表現力等〕】がある。そこで、全ての子どもたちが目標を達成できるようにするため、クロームブックを取り入れた授業を行った。文章をヒント、問題、答え、説明に区切り、それを子どもたちが色ごとに分けることによって内容の大体を捉えようとした。文章を分解したり、色ごとに分けたりすることによって文章を視覚的に捉えられるように工夫した。



4 成果と課題

タイピングタイムを設けたことで、クロームブックを使う時間を確保することができた。中には、1 年生で単語や文章をローマ字で打つことができるようになった児童もいる。一方で、ひらがな、カタカナが十分に身に付いていない児童にとってはまだ難しい内容だった。

オクリンクを用いた授業は視覚的にわかりやすく、ほとんどの児童が目標を達成することができた。1 年生は複雑な作業ができないため、クロームブックを用いる際は、授業目標を明確にして、なるべくシンプルな活動を取り入れることが大切だと感じた。